



山行報告書

山名：北岳バットレス第4尾根 3193m (山梨県南アルプス市)

入山日：平成28年7月29日（金）～31日（日）2泊3日

プラン担当者：岩田 参加者：L・岩田、齊藤、小川国 男3名 計3名 山行報告者：岩田

第4尾根主稜1P目 大樺沢左俣の雪渓が見える		マッチ箱を懸垂下降する	第4尾根主稜6P目 下にマッチ箱が見える
---------------------------	---	-------------	-------------------------

第一日目 7月29日(金) 晴れのち曇り	【電車・バス】集合・新宿 7:00=ス-パ-あすさ 1号指定席⇒8:28 甲府 9:00=バス 2050円⇒10:53 広河原 11:20@広河原 1520m→14:00 白根御池テント設営 2240m登り 2時間40分 14:30 岩壁取付まで偵察に出発→C沢 D沢中間尾根 2622mで折り返す→17:25 テントに戻る(泊)
第二日目 7月30日(土) 晴れのち曇り	2:30 起床 3:40 白根御池テント出発 2240m→5:50 下部岩壁取付点準備 2760m 6:35→下部5ピッチ他→11:30 第4尾根主稜岩場取付のテラス 2920m→主稜4ピッチ→14:45 マッチ箱 3060m→懸垂・5ピッチ→18:10 終了点→19:14 北岳△3192.4m→20:20 北岳肩ノ小屋(泊) 3020m 総行動時間 16時間40分
第三日目 7月31日(日) 晴れ	6:00 北岳肩ノ小屋 3020m→7:40 白根御池テント撤収 8:50→10:50@広河原 1520m 下り 3時間40分 (テント撤収除く) 【バス・電車】12:45 広河原=バス 2050円⇒14:55 甲府 昼食、銭湯入浴、喜久乃湯温泉 400円 16:10 甲府(始発)=かいじ 118号自由席 3610円⇒17:51 新宿

装備 と 食糧	共同装備：ロープ50m2本(齊・小)、3天テント本体(岩)、フライ(岩)、ポールペグ(齊)、ツエルト1(岩)、ガーミンGPS(岩)、トランシーバー1(齊)、カム(4本岩・3本小)、小型コンロ2(岩・小) 共同食：無
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、サバイバルアルミシート、ヘルメット、ハーネス、クライミングシューズ、ヌンチャク、ルベルソ(ATC)、エイト環、グローブ、チョークバッグ、カラビナ、環付きカラビナ、スリング、シュラフ、銀マット、エアーマット、コッフェル、サブザック、登山靴、(ストック)、入浴セット 個人食：29日昼、夕30日朝、昼、夕 31日朝

感想 第1日目：白根御池でテント設営後、すぐに岩壁取付の偵察に出かける。C沢 D沢中間尾根の出合などを探し往復3時間でテント場へ戻った。**第二日目**：まだ暗いうちにテントを出発した。下部岩壁取付に着くと先行1パーティ(二人)が第5尾根支稜を登り始めるところだった。クライミングシューズに履き替え、彼らの右隣のdガリー大滝から登る。下部岩壁を4P後、Cガリーのガレ沢歩きし、「4」の赤ペンキのあるヒドンガリーを1Pで11:30第4尾根主稜取付のテラス着。主稜4ピッチ後マッチ箱を懸垂下降し、枯木テラス、そして最後の城塞を登り18:10終了点着。快適で楽しいビッグなクライミングであった。ロープ2本でトップ・セカンド・サードと一人ずつ登ったので、意外と時間がかかった。あと40分で日没だから急いでギヤを片付け登山靴に履き替え、北岳頂上をめざした。暗闇の中はGPSで進む方向を確認でき大変役立った。予定を変更し肩ノ小屋泊まりとした。この日バットレス第4尾根を登攀したのは3パーティのみで、後続の1パーティは途中で姿を見たがその後現れずビバーグしたかもしれない。C沢D沢は雪渓はなくアイゼンは不要であった。**第三日目**：朝は素晴らしい展望を楽しむことができた。仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山を眺めながら、小太郎尾根分岐を過ぎ草スベリルートで白根御池テント場へ戻った。広河原から甲府駅までバスに乗り、甲府駅近くの銭湯、喜久乃湯温泉で入浴した。ここは太宰治が通った天然温泉で、昭和元年創業の歴史ある銭湯、昭和レトロがウリだ。いい湯だった。＼(^o^)／以上